

**場所・面積**

静岡県沼津市、面積：53.47 ha（緑地面積：42.24 ha）

**管理目的**

自然環境保全と景観整備、従業員と近隣住民の自然環境の学びの場の提供を目的。

**サイト概要**

約53ヘクタール（ha）の工場敷地の80%弱を占める広大な緑地は、地域の貴重な生物多様性の育む場。敷地内には季節ごとに草花が生え、野鳥、昆虫、シカ、タヌキ、リスなどが生息する。また、桜並木の見学、茶畑での茶摘みイベント、小学校の郊外学習、緑地内を散策するウォークラリー、静岡県主催の環境教育ネットワークミーティングの実施など、季節のイベントごとに工場を一般開放し、地域社会への貢献活動を実施。

**土地利用の変遷**

1976年に富士通沼津工場として操業開始以降、敷地取得前からある自然林、茶畑等をそのままの形で維持している。工場棟、および駐車場周りは庭園管理を施している。一般開放エリアにはビオトープを整備、居住地跡は緑地をそのままにし、やぎの放牧地として活用している。

**サイト周辺の環境**

工場の北側は第二東名高速道路、南側は東名高速道路が隣接。東側は茶畑と住宅地、西側にも茶畑が広がっている。工場には外壁を持たず、近隣環境との調和を図るよう高木で区画している。

**アピールポイント**

富士通沼津工場は富士山の南、愛鷹山の麓に位置し、操業当時の自然な形を今日まで維持し続けている。外壁を持たないため、周辺に生息している野生生物も工場内で見ることができる。また、工場棟周辺のセキュリティエリアを除く敷地のほぼ大半を一般開放しているため、従業員はもちろん、地域住民の憩いの場として活用していただいている。ビオトープをはじめとし、整備された遊歩道や放牧しているやぎなど、癒しを求められる緑地となっている。

このような環境を利用し、近隣の幼稚園、小学校の環境教育の場としても活用され、近年では緑地見学を希望する企業、大学も増えてきている。静岡県では準絶滅危惧種となっている生物も確認しており、生物の保全とともに日本の在来種動植物の育成にも力を注いでいる。

## 生物多様性の価値

## 価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

## 【場の概況】

敷地内には以下の植生が点在しているほか、タヌキやヒヨドリといった里山に典型的に見られる種の生息も確認している。

樹木の剪定や芝生管理、下草刈り等を行うことを通じて、「生物多様性の概況」に記載した様々な植生が維持され、灌木や草地から成るモザイク的な里山環境を維持している。

植生自然度4：路傍・空地雑草群落、ゴルフ場・芝地

植生自然度5：チガヤーススキ群落

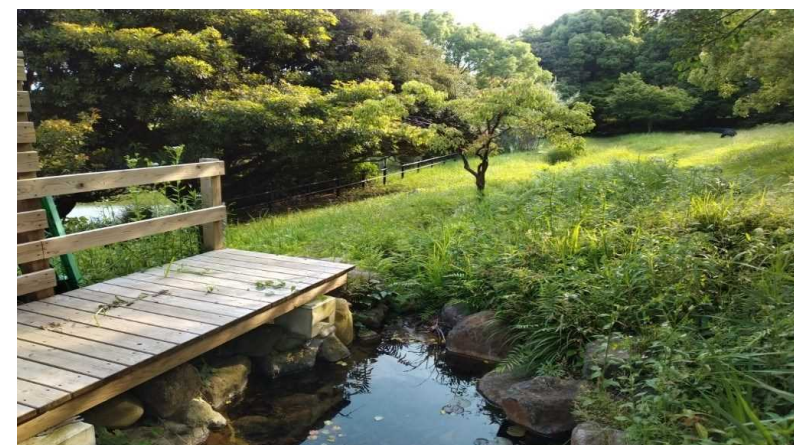
植生自然度8：シイ・カシ二次林

## 【主な植生】

- ・ヒノキ
- ・イチョウ
- ・ホオノキ

## 【確認された主な動植物】

- ・ニホンシカ
- ・ハクセキレイ
- ・イソヒヨドリ
- ・コナラ
- ・クヌギ



写真番号：1 写真の撮影年月：2022年6月7日  
写真の説明：ビオトープ



写真番号：2 写真の撮影年月：2022年7月15日  
写真の説明：野生の鹿

## 生物多様性の価値

## 価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

## 【場の概況】

敷地内には季節毎に草花が生え、多くの野鳥、昆虫、シカ・タヌキ・リス等の哺乳類が生息しており、地域の貴重な生物多様性を育む場として存在している。  
豊かな緑地を活用した茶摘み・健康ウォーキング等のイベントを季節毎に実施し、生態系を活用した環境学習や市民の憩いの場として活用している。  
庭園や遊歩道等の整備を行うことで、生態系サービスを提供する場として適切な環境を維持している。

## 【主な植生】

- ・ススキ
- ・ニホンタンポポ
- ・ブタナ

## 【確認された主な動植物】

- ・カワニナ
- ・ミナミメダカ
- ・キジ
- ・チャノキ
- ・ソメイヨシノ



写真番号：3 写真の撮影年月：2022年5月26日  
写真の説明：茶畑



写真番号：4 写真の撮影年月：2022年4月5日  
写真の説明：



## サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
<p><b>【管理計画の内容】</b></p> <p>自然樹林・整形樹林の整備（整枝、剪定）、および庭園・遊歩道等の管理、病害虫・外来種の防除について、年間200日（8名体制）の作業を実施している。 芝生等の管理にあたっては除草剤の散布を行っているが、利用範囲は限定的である。 特定の生物多様性の価値を対象としたモニタリングは実施していないが、敷地内に生息する動植物も、日々の巡回や庭園作業、緑地整備時において場の環境を恒常的に維持していることとともに、生物多様性の価値に対して確認している。</p>	<p><b>【モニタリング対象】</b></p> <p>特に定めていない</p> <p><b>【モニタリング場所】</b></p> <p>工場敷地全体</p> <p><b>【モニタリング手法】</b></p> <p>巡回</p> <p><b>【実施時期及び頻度】</b></p> <p>毎日</p> <p><b>【実施体制】</b></p> <p>警備員 庭園管理メンバ 緑地整備メンバ</p>